



志岐高便り

第144号

発行責任者
山口 千樹



携帯
サイトへ

長崎県立志岐高等学校 長崎県志岐市郷ノ浦町片原触88

[TEL]0920-47-0081 [HP] <http://www2.news.ed.jp/section/iki-h/>

巻頭言

「創立記念日に寄せて ～つなぐ～」

校長 山口 千樹



今年の煌雪祭(こうせつさい)のテーマである「凜～つなぐ伝統、越える想像～」は、来る11月2日に創立108年目を迎える本校にふさわしいものだったと思います。本校は、明治から昭和・平成と、志岐中学校・高等女学校からの伝統のタスキをつないできたのです。創立記念日の時期に、校内駅伝大会を行ってきたのも「つなぐ」という意味があるのだと思います。

私が生徒だった昭和50年代は、男子の1区間が平均3～4kmで、そこを走る選手に選ばれるのは憂鬱なことでした。私は自宅付近の沼津小学校～湯の本間4.4kmを走りましたが、近所の方が応援するので手は抜けず、ゴールした時は死にそうになりました。また、どのクラスでも最長区間の石田郵便局～学校間の6.7kmを走る人が決まらずもめるのが普通でした。幸い私は3年間、陸上部の長距離のエース山村君と同じクラスでしたので、助かりました。

平成のはじめの頃は教員チームがあり、私もメンバーとして色々なところを走りました。当時の生徒は走るのが速くて大差をつけられるので、駅伝大会に出るのは苦痛でした。その頃は、女子だけでつなぐコースもありました。

さて、今年の校内駅伝大会は、6月の大雨の影響でコースを大幅に変更しました。区間記録の更新を目指していた生徒には申し訳ありませんでしたが、新区間で名前を残してください。生徒が減ってコースも短くなっています。いつまで安全に大会ができるのか心配な気持ちもあります。しかし、たくさんの保護者の皆様のご支援や、志岐警察署の協力で大会ができます。感謝の気持ちとともに走って、記憶に残る大会にしてほしいと思います。

学校や同窓会では、2年後の創立110周年記念式典などの準備を始めています。その時の主役は、今の1年生(72回生)ということになります。伝統をしっかりつないでくださいね。



各学年団から

第 3 学 年 よ り

9月の体育祭以降にあった公務員試験や就職試験、各種専門学校や国公立大学のAO入試の結果が、10月になり徐々に出始めました。進路が決定した生徒がでてきています。今まで以上に謙虚な気持ちを忘れず、目標を持ち、残りの学校生活が消化試合のようにならないように充実させてもらいたいと思います。

【受験にまつわる不思議な法則】(前半)

- ①「さあ、今からやろう」と思っているときに限って、親は勉強しなさいと言う。
- ②友達の「全然勉強してない」ほど当てにならないものはない。
- ③人の参考書ほど、効きそうに見える。
- ④「30分だけ寝よう」は、気づくと朝。
- ⑤受験生は、集まると遊んでしまう。
- ⑥問題集でやるのは、前の方。でも試験に出るのは、後の方。
(後半は来月です。)

第 2 学 年 よ り

随分寒くなってきました。煌雪祭の盛り上がりから一転、今度は学習においても活躍を期待します。月末の期末考査を控え、中にはその只中で英語の外部検定試験を受検する生徒もいます。この時期は早朝補習が欠かさず実施され、学びを深めるのに最適な時期です。また先日は、陸上、ソフトテニス、卓球、英語ディベート、歴史学専攻などから上位大会進出の吉報が届き、2年生が大いに活躍しています。様々な活動に積極

的な生徒たちを誇りに思います。最近では、学びに対する姿勢や質問の内容も受験生らしくなってきました。センター試験の内容のほとんどが2年生までの内容であるとも言われ、今の頑張りが進路決定に大きく影響しません。部活動に打ち込むことのできる期間も残り8ヶ月となりました。体調管理とあわせて、生徒たちを見守り、温かくも厳しく学業と部活動との両立に向かわせてください。

第 1 学 年 よ り

彦岐高で初めての体育祭、文化祭も無事に終了し、2学期も早2ヶ月が過ぎました。文化祭では各クラスとも創意工夫を見せ、成功を収めることができました。しかしながら、文化祭に向けた活動の中で、意見がぶつかったり、協力してくれない生徒もいたり、悩んだり、悔し涙を流した生徒も多かったです。それを乗り越え作り上げた各クラスの出し物は、クラスの団結力や生徒の成長を表しているのだと感じることができました。

現在72回生は、学習では進研実力模試に向けて、部活動では新人戦に向けて、多忙な日々を過ごしています。特に、学習面では『プラス5UP大作戦』と称し、「①偏差値+5 ②学習時間+500分(週)③質問回数+5回(週) ④進研模試へのモチベーション+50%」を目標に、学力向上のキャンペーンを実施しています。ご家庭でもぜひ、学力向上に向けたお声かけをいただきますよう、よろしく願います。

東アジア歴史・中国語 コース

「第11回全国高校生歴史フォーラム」(歴史論文の全国コンクール)で歴史学専攻2年生・3年生の研究論文2作品が優秀賞を受賞しました。11月18日(土)に奈良大学にてプレゼンテーション発表が行われ、「学長賞」「知事賞」を決定し、表彰式が実施されます。今後も継続して頑張ります。

【大会結果】

優秀賞(5/全応募作品116)

- ◎「大村家墓所の研究～大村家16代当主純伊及び19代当主喜前の没年と石塔造立年の不一致について～」 歴史学専攻3年 三尾 駿
- ◎「長崎県壱岐市馬立(もうたる)海岸遺跡の研究」 歴史学専攻2年 江口 幸希・木樽 柁・滝川 和遥・森 進



壱岐高Topics!

11月行事予定

①1年 ②2年 ③3年

生徒指導部より

秋の深まりとともに朝晩冷え込むようになり、各自の体調に合わせて「衣替え」を行う生徒が増えてきました。男子は「制服から下着が出ない」女子は「セーターの裾は折り曲げる」など正しく着こなすようにして下さい。

さて、今年度は10月27日(金)に、第64回校内駅伝大会を開催しました。開催にあたり、PTA健全育成委員の皆様には、交通整理員としてご協力いただいたことに深く感謝申し上げます。並びに、保護者・地域の皆様からの暖かいご声援ありがとうございました。今後とも、ご協力をお願いいたします。

進路指導部より

10月5日(木)、センター試験100日前集会を実施しました。山口校長、本村学年主任、濱栗進路主任の激励の後、生徒を代表して3年1組の呼子京香さんが決意表明を行いました。現行の大学入試センター試験も3年後から「大学入学共通テスト」に変わるなど、いよいよ入試制度の変革期を迎えていることを感じます。現在はAO・推薦入試でのみ課せられている志望理由書(自己推薦書)が一般入試でも必要となる可能性があります。いずれにしろ、進学、就職を問わず明確な志望理由が合格への大きなモチベーションとなることは言うまでもありません。

3年生は就職内定通知や大学などの合格通知を受け取る生徒が出てきました。しかし、推薦入試のピークは11月、一般入試は1月のセンター試験をはじめ、国公立、私立大学後期試験は3月まで続きます。受験を控えた人が必死に頑張るのはもちろんですが、既に合格した人こそ、卒業後を見据えてしっかりと学習してもらいたいものです。合格した人が頑張り続ける姿が、周囲への最大の励みにもなるのです。

1	水	部活動冬時間開始 緊急地震速報対応訓練
2	木	創立記念日 生徒自宅学習 県高校駅伝 大学別オープン模試③
3	金	【文化の日】中学生のための土曜授業 (10:00~12:00) [モジュール]
4	土	進研・駿台共催マーク模試③ 東アジアコース日中友好交流ツアー
5	日	進研・駿台共催マーク模試③ 第2回東アジアコース体験入学 第2回英検二次
6	月	保育実習1-5
7	火	LHR(人生の達人セミナー) 保育実習1-6
8	水	
9	木	7校時火の7
10	金	県高総文祭(~12) 第2回漢字検定
11	土	東大実戦(駿台)③
12	日	東大実戦(駿台)③
13	月	
14	火	進路ガイダンス①②
15	水	
16	木	LHR (高総体駅伝報告会)
17	金	
18	土	センター試験プレテスト(河合塾)③
19	日	センター試験プレテスト(河合塾)③
20	月	生徒評議委員会
21	火	LHR(生徒総会)
22	水	考査時間割発表
23	木	【勤労感謝の日】オープン模試③
24	金	
25	土	
26	日	中国語検定 歴史検定
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	期末考査①②③



校内駅伝大会



10月27日(金)素晴らしい天候と爽やかな秋風の中、校内駅伝大会が行われました。今年は新コースで行われ、いつもと違った風景を見ながら走ることができました。生徒達も美しい汗を輝かせながら一生懸命走っていました。

平日にもかかわらず、たくさんの方々の応援ありがとうございました。またご協力をくださいましたPTA、警察署の方々にも重ねてお礼申し上げます。



蔡先生コラム 『文化旅行』

みなさん、重陽の節句をご存知ですか?「易経」では数字の「六」を陰数と考え、数字の「九」を陽数と考えます。旧暦9月9日(今年は10月28日)は陽の重なりの日、だからこの日は「重陽」と呼ばれます。空が高く澄みわたり、さわやかな秋の季節になります。この頃、人々は山登りをしたり、菊の花を観賞したり、菊の酒を飲んだり、「重陽ガオ」という餅を食べたりと様々な風習があります。重陽の節句は戦国時代にはすでに存在しており、唐の時代に祭日になりました。最初は厄除けのための儀式でしたが、時代が下るにつれて重陽の節句は新しい意味を与えられました。それは数字の「九」と長い「久」の発音が一緒であることから、長寿を象徴するようになりました。今、重陽の節句は日本でいう敬老の日のような祭日になっています。

重陽ガオ→

